

この度は、当社の商品をお買い上げいただきまことにありがとうございます。

ご購入いただきました商品を末永く安全にお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みいただき、必要に応じていつでもご確認できますように大切に保管して下さい。

水 きをして

商品の置き方

- 高温多湿の部屋での使用は避けてください。空気が滞留するとカビやダニの発生の原因になります。
- 商品は床面の平らな場所に水平になるように置いてください。水平でないところに置くと、商品の変形やゆがみ、ガタツキの原因になることがあります。
- 床面がフローリングや畳などの場合は、床面のキズ防止のために敷物などを引いて使用してください。
- 直射日光や熱、冷暖房機の強風などが直接あたらないようにしてください。商品の変色・変形などの原因となることがあります。
- 移動の際は、乗せているものをおろし、必ず持ちあげて移動してください。引きずりますと、商品や床にキズをつける恐れがあります。

使用上の注意

- 天板の端に重いモノを乗せたり、荷重をかけないでください。バランスを崩し、転倒などの原因となることがあります。
- 商品の上に立ったり飛んだり、踏み台の代わりに使ったり腰かけたりしないでください。安定を崩し倒れてケガをする事があります。
- 商品の上に灰皿や食器など、底のざらついた物を直接置いて引きずったりしないでください。商品が傷つく恐れがあります。

お手入れ方法

- 普段のお手入れは、はたきなどでホコリを落とした後、柔らかい布で乾拭きをしてください。
- 汚れのひどい時は、3~5%に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れを落とし、その後水拭きをして洗剤分をよく拭き取ってください。次に乾いた布で軽く拭いた後、自然乾燥させてください。

耐荷重について

- 耐荷重は3kgまでです。天板に乗せるモノの荷重は、安全を考え3kgまでとしてください。

保守・点検

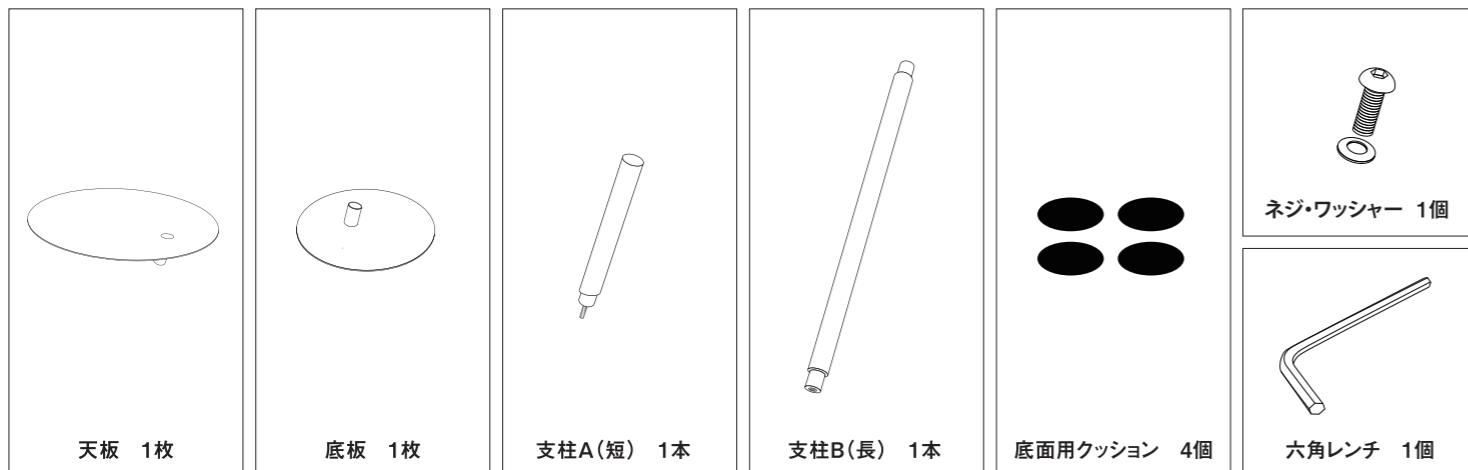
- お客様による修理、及び改造はしないでください。商品の強度を弱め、破損やケガの原因となることがあります。
- ボルト類はゆるみやグラツキが無いか時々点検し、ゆるみ始めていたら、しっかり締め直してください。

机及びテーブルの品質表示

寸法	外形幅350 x 奥行350 x 高さ700 mm (天板高560mm)
甲板の表面材	スチール
表面加工	エポキシ粉体塗装
支柱部分	アッシュ材
取り扱い上の注意	直射日光やストーブ等の熱を避けてください。
原産国	台湾
表示社	株式会社マークスインターナショナル 東京都渋谷区恵比寿西2-21-1

Components 部材一覧

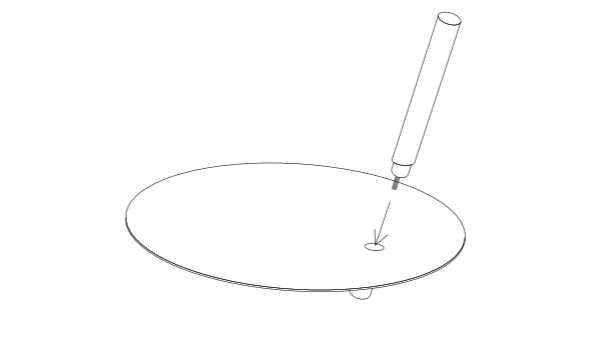
組み立てに入る前に、梱包物が揃っているかご確認下さい。組み立てた後ですと、返品や交換が受け付けられない場合があります。必ずお確かめ下さい。



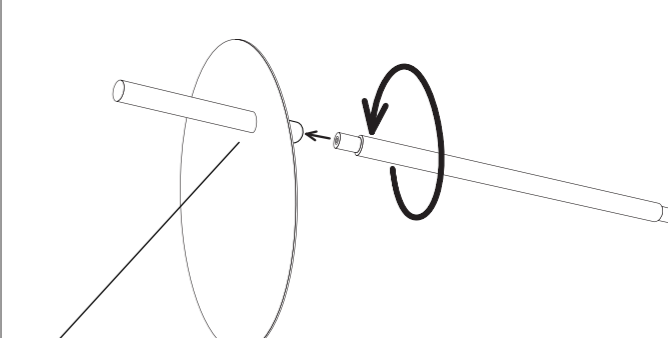
Joint 組立方法

組み立ては、床に寝かせた状態で行なって下さい。硬い床の上等で行なうと、床を傷つけたり、本体の塗料が剥がれる原因になりますので、柔らかい布またはカーペットの上で作業を行なって下さい。

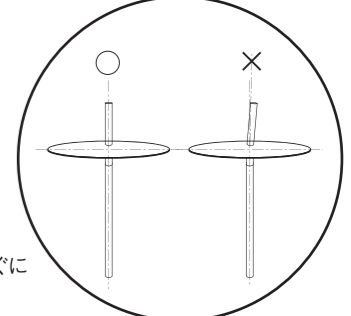
1 天板に支柱Aを差し込む



※支柱Aの差し込み穴は斜めになっているので、天板の角度に合うようにピッタリとはめ込む。



※支柱を締め込む際に、ここがずれないように注意



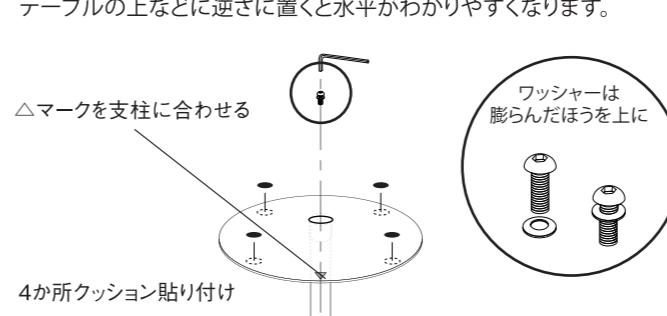
※支柱Aと支柱Bがほぼ真っ直ぐになっているか確認してください。

※この状態で、支柱A・天板・支柱Bがしっかり固定されていないとベースを取付後に天板が回ってしまうので注意してください。

3 底板と支柱Bをネジ止めして完成です。

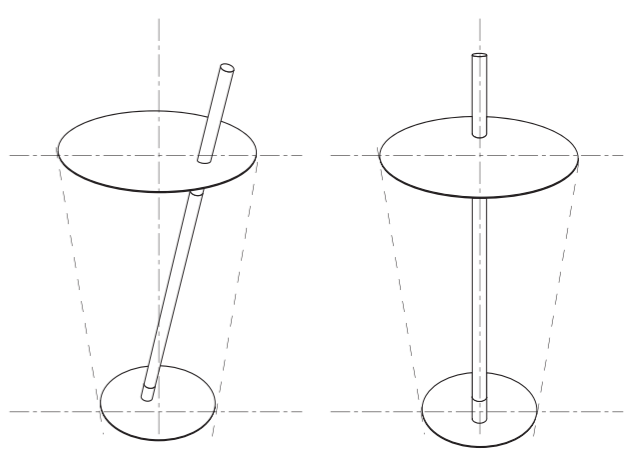
※ 底板裏面の端にある△を目安に底板が水平になっているか確認してネジを固定します。

テーブルの上などに逆さに置くと水平がわかりやすくなります。



△マークを支柱に合わせる

ワッシャーは膨らんだほうを上



4か所クッション貼り付け

正面からも横からも天板と底板が逆円錐状に位置している事をお確かめください。ずれていると天板が傾斜するので、その場合は組み直してください。